

# 平成30年度事業報告

社会福祉法人 若宮会

特別養護老人ホーム わきたの里

ショートステイ わきたの里

グループホーム わきたの里

# 目 次

## I はじめに

※平成30年度事業所別課題抽出結果

## II 法人統括

1. 利用者処遇
2. 相談援助
3. 健康管理
4. 職員の資質及び専門性の向上

## III 事業所別事業報告

1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】について
2. (予防)短期入所生活介護【ショートステイ】について
3. (予防)認知症対応型共同生活介護【グループホーム】について
4. (総合事業)地域密着型通所介護【デイサービス】について

## IV 各事業所利用実績

1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】
2. (予防)短期入所生活介護【ショートステイ】
3. (予防)認知症対応型共同生活介護【グループホーム】
4. (総合事業)地域密着型通所介護【デイサービス】

## V 各事業所行事・研修報告

- ・平成30年度特別養護老人ホーム行事・研修報告
- ・平成30年度グループホーム行事・研修報告
- ・平成30年度デイサービス行事・研修報告

## I はじめに

社会福祉法人若宮会における平成30年度の事業につきましては、当法人の基本理念と運営方針に基づき、各事業において、高齢者の方々が充実した毎日を過ごしていただけるように、利用者の目線にあわせた質の高い福祉サービス等の提供に努めることを目標に、それぞれの事業を推進してきました。

平成30年度を取組を推進していくなか、各事業所において抽出された課題については、以下のとおりです。

### ※平成30年度事業所別課題抽出結果

#### 特別養護老人ホーム

- ・介護人材の確保・定着の促進
- ・稼働率の重要性とその理解の促進
- ・入所者の確保
- ・適切な評価のための訪問調査対応
- ・介護サービスの質の向上と加算の取得
- ・処遇改善加算と稼働率の相互関係の理解

#### ショートステイ

- ・利用者の確保
- ・処遇改善加算と稼働率の相互関係の理解
- ・機能訓練の必要性和安定供給

#### グループホーム

- ・適切な評価のための訪問調査対応
- ・認知症ケアに係る介護サービスの質の向上
- ・中重度者受け入れ・重度化対応に係る介護技術の向上
- ・資格取得による専門性の向上
- ・処遇改善加算の理解

## II 法人統括

### 1. 利用者処遇

利用者処遇に関しましては、法人の基本理念に基づき、利用者の方が「生きがいを持てる健全で安らかな生活の保障」を基本として、地域から信頼を得る質の高いサービスの提供を目指すとともに、入所者の人権を尊重し、自己決定や安心感、満足感を満たすサービスの向上に努めてきました。

しかし一昨年に引き続き人材不足の表面化から個別ケアの推進という点で大きな課題を残す結果となっています。そのような中、可能な限り画一的なサービスの提供とならないよう、限りある時間と人数の中処遇の向上に努めてきました。今後は人員の補充により全体スキルの向上を目指すことで入所者処遇の充実に努めていきたいと考えています。

### 2. 相談援助

相談援助につきましては、利用者のご家族とのつながりを維持していくため、利用者の心身の状況や変化等に関する情報提供を行いながら連携に努めてまいりました。

平成30年度におきましては、老人保健施設・生活保護受給者を中心にサービス利用についての相談が例年に比べ増加しており、特に老健から退所を余儀なくされた利用者に関しましては、安心して次の生活の場ですごせるよう配慮に努めるなど、今後の外部機関との連携構築にも繋がるよう取り組んできました。

### 3. 健康管理

入所者や利用者の基礎疾患を基にした健康管理を行うとともに、特に予測される病態を把握することにより異常の早期発見、早期受診に努めてきました。

しかし、今日まで施設内での疾病予防としての特別な取組が確立されておらず、早期発見・早期受診に努めることはできたものの、入院者数が多く稼働率が極端に低下している状況にあります。以上を踏まえても今後は、誤嚥性肺炎を中心とした疾病予防や口腔ケア等の推進が必要不可欠であると考えています。

### 4. 職員の資質及び専門性の向上

個々の職員の資質や専門性の向上を図り、運営方針に基づいた「利用者の目線に合わせた質の高い福祉サービスの提供。」に則り、法人全体と各事業所において、年間の研修計画に沿った職員の勉強会や外部講師を招いた施設内研修を実施しました。また専門性の向上を目的とし、多職種連携の推進に特にちからを入れてまいりました。今後は、チームケアとしてのスキルの向上が必要なことから多職種連携のさらなる構築にむけて取り組んでいきます。

### Ⅲ 事業所別事業報告

#### 1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】について

##### (1) 平成30年度の取り組みについて

特別養護老人ホーム「わきたの里」では、地域から信頼を得る質の高いサービスの提供を目指すとともに、入所者の人権を尊重し、自己決定や安心感、満足感を満たすサービスの向上に努めてきました。

また利用者確保につきましては、年間を通して前年度以上の稼働率になるよう努めました。が、次年度の人員配置基準を鑑み常時満床に近い稼働率を確保することが適わず、加えて年度の後半に多くの退所者が発生したことから前年度に比べ平均6人程度の増加はあるものの数字としては、あまり振るわない結果となっています。

##### (2) 重点目標の取り組み

###### ① 運営の充実

施設の運営にあたっては、利用者の人権尊重やプライバシーの保護に最大限配慮し、介護サービスの即応性や多様なニーズの対応に努めてきました。

###### ② 職員の資質及び専門性の向上

職員の資質及び専門性の向上については、委員会活動や会議を通して個々の専門知識の向上、意識の向上に努めてまいりました。

###### ③ 家族との連携

家族との連携については、利用者のご家族とのつながりを維持していくため、利用者の心身の状況や変化等に関する情報提供を行いながら連携に努めてきました。

###### ④ 給食

利用者の給食については、給食業務委託業者協力のもと、食中毒防止などの衛生管理の徹底に加え、毎月の給食会議により季節感のある献立や利用者の嗜好に配慮した食事の提供に努めてきました。

###### ⑤ 看護

入所者や利用者の基礎疾患を基にした健康管理を行うとともに、特に予測される病態を把握することにより異常の早期発見、早期受診に努めてきました。

## 2. (予防) 短期入所生活介護【ショートステイ】について

### (1) 平成30年度の取り組みについて

ショートステイ事業につきましては、在宅介護におけるご家族の心身の負担軽減に努めてまいりました。緊急時でも積極的な受け入れが可能となるよう、職員への周知徹底を図り次の利用につながるよう対応してきました。

しかしながら今日まで、人員不足により受け入れを断ることもあり、実質的な利用者の確保ができない状況にあります。また、現場単位での利用者確保の必要性の理解につきましても人員不足の課題だけが専行し、十分に理解させることができないという現状も浮き彫りになっています。今後につきましても人員の充足なしでは、安定したサービスの供給が適わないことから、上記二つの課題を解決し介護サービスの安定供給ができるよう努めていきたいと存じます。

### (2) 重点目標の取り組み

#### ①介護意識の向上

利用者のADL状況や精神状態等を把握しながら、適切な介護方法等について検討してきました。またケアプランの立案及び、他のサービス機関との連携を図りながら事故等が発生しないような支援に努めてきました。

#### ②健康管理の徹底

常に利用者の健康状態に注意し健康保持、機能訓練を実施することによりADLの向上、現状維持に努めてきました。

#### ③相談及び援助

利用者やご家族からの相談に適切に応じるとともに、利用者の置かれている環境の適切な把握に努め必要な助言等を行うなど、信頼関係の構築に努めてきました。

#### ④緊急時における対応

利用者の病状等が急変した場合は、ご家族や主治医、事業者が定めた協力医療機関へ連絡を行うとともに、速やかな対応とその措置に努めることを目標に取り組んできました。

#### ⑤利用者確保

ここ数年の特養利用者の減少に加え、介護職員の人員不足により受け入れの縮小を余儀なくされ長期利用者は0人、定期利用者もわずか数名という状況に陥っています。また今後の課題としてショートステイの利用者は、在宅に戻ることもありサービスの質に直結していることから、相談業務と介護現場の質の担保が今後優先すべき課題の一つとなっています。

### 3. (予防) 認知症対応型共同生活介護【グループホーム】について

#### (1) 平成30年度の取り組みについて

グループホーム「わきたの里」では、入居者の方々の生活を基本として、入居者の個々の状態を日々把握し、職員内での情報の共有を図りながら笑顔で接することを心がけ、入居者の思いやそれぞれのペースを尊重し、各種の行事や季節の移り変わり等を体感していただきながら、安心して穏やかに過ごしていただけるよう努めてきました。

また課題として重度化と中重度者受け入れに係る、介護技術の技能不足の表面化が挙げられます。重度の認知症を抱える利用者はもちろんのこと、身体介護が必要な利用者に対する介護技術の向上を図ることで受け入れ幅の拡充を行うことも必要ではないかと考えています。

地域に信頼される居場所づくりをしていくことも地域密着型である事業所の務めであり、今後の運営におきましても以上のことを念頭に努めていきます。

#### (2) 重点目標の取り組み

##### ①運営推進会議の活用と推進

2ヶ月に1回(年6回)の定期開催をはじめ、地域・行政・福祉連携のもと様々な意見の抽出を行い、課題解決や取組についての推進に努めてきました。

##### ②入居者の健康管理

嘱託医・歯科医療機関協力のもと利用者様の健康管理に努め、平成30年度におきましては、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の罹患者もゼロに抑えることができました。

##### ③利用者処遇の充実

利用者一人ひとりの状態をもとにプランの見直しを行い、職員間の情報共有と個別ケアにおける支援方法の統一化を図ることで、安心して気持ちの良い支援を受けていただけるよう努めてきました。

##### ④職員の資質と専門性の向上

法人全体での施設内研修をはじめ、年間の研修計画に沿った研修を実施することで、スキルの向上に努めてきました。また前年度に引き続き職員体制の充実のためユニット関係なく全利用者の状態把握が可能となるよう、月ごとに勤務を入れ替え職員一人ひとりが利用者一人ひとりに対し根拠に基づいた専門性の高い介護ができるよう努めてきました。

##### ⑤外部評価について

本年度も2月末に調査員2名を迎え外部評価を実施していただきました。

#### 4. (総合事業) 地域密着型通所介護【デイサービスセンター】について

##### (1) 平成30年度の取り組みについて

デイサービスにつきましては、昨今の社会福祉情勢の変化の中一時期乱立されたデイサービスは小規模事業所を中心に倒産が相次ぎ、安定供給が可能な事業所（いわゆる有料老人ホームの囲い込み等）までも経営の不振が発生している状況です。また、当事業所も例外ではなくここ数年事業の停滞を感じる機会が多く苦渋の決断ではございましたが、平成30年度を持ちまして廃止に至ることとなりました。

そのような状況の中、当初の計画に則り最後まで安心して通っていただけるよう職員一同、重点目標の取組をはじめ様々な支援や行事に努めてきました。

##### (2) 重点目標の取り組み

###### ①職員意識と質の向上

法人全体での施設内研修や年間研修計画をはじめ、地域包括ケアの推進、自立支援・重度化防止、総合事業の取組など外部研修にも積極的に参加し、今後の展望も含め研鑽を重ねてきました。

###### ④個別援助等の強化

小規模・地域密着型通所介護の利点を大いに活かし、個別の支援計画、ケアプランに基づき、レク・リハ・認知症ケア等個別ケアの充実を図りました。

###### ⑤レクリエーション・機能訓練等の充実

月1回の行事によるお出かけや敬老会に向けた作品作り等、利用者、職員ともに楽しく行うことができました。また利用者の機能低下（重度化）が進む中、自立（自律）支援を目標として、作品作りを中心とした複雑な作業療法や下肢筋力強化等のADLの維持・改善に努めてきました。

###### ⑥利用者の確保

地域包括支援センターや各居宅事業所（ケアマネージャー）との連携を図りながら新規利用者の獲得に努めてきましたが、年間を通しわずか1名の新規利用しかなく、契約解除者（施設入所等）を含めると前年度より稼働率は低下しています。

###### ⑦健康管理

前年度に引き続き、利用者数が少ないことからなんとか介護事故0を達成することができました。また、健康管理につきましては利用者の自立（自律）支援、健康意識、予防意識の向上のため、細かな声掛けを行い、利用者個人の意識改革としての健康管理に努めてきました。





## 各事業所利用実績

### 1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】

入所者の介護度状況

(平成31年3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男性	0	3	10	2	1	16	3.0
女性	0	2	9	10	6	27	3.7
計	0	5	19	12	7	43	3.4

月別入所実績

(延べ人数)

月	人数	1日平均人数	月	人数	1日平均人数
4月	1,376	45.9	10月	1,488	48.0
5月	1,425	46.0	11月	1,374	45.8
6月	1,417	47.2	12月	1,427	46.0
7月	1,540	49.7	1月	1,430	46.1
8月	1,531	49.4	2月	1,254	44.8
9月	1,441	48.0	3月	1,325	42.7
合計				17,028	46.7

### 2. (予防)短期入所生活介護【ショートステイ】

月別利用実績

月	要支援		要介護					計	延利用 日数	1日平 均
	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5			
4月	0	0	1	2	0	0	0	3	12	0.4
5月	0	0	1	1	0	0	0	2	6	0.2
6月	0	0	1	1	0	0	0	2	10	0.3
7月	0	0	2	0	0	0	0	2	13	0.4
8月	0	0	1	1	0	0	0	2	19	0.6
9月	0	0	1	0	0	0	0	1	6	0.2
10月	0	1	1	0	0	0	0	2	7	0.2
11月	0	0	2	0	0	0	0	2	6	0.2
12月	0	0	1	0	0	0	0	1	5	0.2
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	1	0	0	0	0	0	1	3	0.1
3月	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0.1
年間延利用者数・年間利用者数平均									89	0.2

### 3. (予防) 認知症対応型共同生活介護【グループホーム】

入所者の介護度状況

(平成31年3月31日現在)

介護度	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均
男性	0	2	1	0	0	0	3	1.3
女性	0	5	1	3	6	0	15	2.6
計	0	7	2	3	6	0	18	2.4

月別利用実績

月	延利用者数	1日平均利用者数	月	延利用者数	1日平均利用者数
4月	493	16.4	10月	539	17.4
5月	538	17.9	11月	509	17.0
6月	509	17.0	12月	532	17.2
7月	512	16.5	1月	557	18.0
8月	539	17.4	2月	504	18.0
9月	540	18.0	3月	557	18.0
合計				6,329	17.3

### 4. (総合事業) 地域密着型通所介護【デイサービス】

月別利用実績

月	通所介護(要介護1~5)				総合事業(要支援1・2)				全体平均利用者数(1日)
	登録者数	延利用者数	開設日数	1日平均利用者数	登録者数	延利用者数	開設日数	1日平均利用者数	
4月	2	23	13	1.77	5	21	13	1.62	3.38
5月	2	19	13	1.46	5	22	13	1.69	3.15
6月	2	21	13	1.62	5	21	13	1.62	3.23
7月	2	23	13	1.77	5	21	13	1.62	3.38
8月	2	21	12	1.75	5	24	12	2.0	3.75
9月	2	21	12	1.75	5	20	12	1.67	3.42
10月	2	23	14	1.64	5	23	14	1.64	3.29
11月	2	19	13	1.46	5	20	13	1.54	3.0
12月	3	24	12	2.0	5	19	12	1.58	3.58
1月	3	12	12	1.0	5	18	12	1.5	2.5
2月	2	12	12	1.0	5	22	12	1.83	2.83
3月	2	11	13	0.85	5	22	13	1.69	2.54
合計・平均	26	229	152	1.51	60	253	152	1.66	3.15

# IV 各事業所行事・研修報告

## 平成30年度特別養護老人ホーム行事報告

月	行事名	備考
4月	花見(桜) 誕生会	昼食時間を利用し苑内にて花見会を実施。 合わせて行事食の提供と記念撮影を実施。
5月	母の日 誕生会	母の日に合わせた記念品の贈呈(写真撮影)。
6月	父の日・誕生会 若宮幼稚園慰問 避難訓練	父の日に合わせた記念品の贈呈(写真撮影)。 園児によるお遊戯のお披露目と交流。
7月	七夕・誕生会 中学校職場体験	七夕飾りの飾りつけや行事食の提供を実施。
8月	かき氷パーティー・誕生会 お盆供養	レクリエーションの開催に合わせかき氷を提供し季節 を感じ楽しんでいただいた。
9月	敬老会 誕生会 彼岸供養・大掃除(ワックスがけ)	実行委員主導のもと敬老会を実施。 大掃除は業者依頼にて実施。 明覚寺住職によるお彼岸供養。
10月	コンサートボランティア 誕生会	SHIDAX 職員によるコンサートを利用者・職員一同楽し んでいただいた。
11月	足湯ボランティア 誕生会 避難訓練	温泉協会による足湯ボランティア実施、日曜に施設長・ 理事長にも手伝ってもらい利用者様に楽しんでいただ いた。
12月	餅つき 誕生会 クリスマス会	餅つきの見学と体験を実施。
1月	書初め 誕生会	職員支援のもと新年の書初めを実施・展覧。
2月	回転寿司 誕生会	法人全体での回転寿司の企画・開催。
3月	誕生会 花見	

※短期入所生活介護についても以上の行事に準じることとする

## 平成30年度特別養護老人ホーム研修報告

年月	研修テーマ	参加職員数	講師等
H30.04/26	口腔ケア	8人	介護職員 豊永 千恵
H30.05/24	緊急時の対応	7人	介護主任 赤城 啓治朗
H30.06/28	感染症・食中毒の基礎知識	8人	介護職員 関岡 隆斗嗣
H30.07/11 H30.07/18	介護職員の接遇	11人	GH 秋桜 池上 三千代 氏
H30.08/23	虐待予防	8人	介護職員 田中 将太
H30.09/26	介護のプロになるための11の思考法	10人	介護主任 赤城 啓治朗
H30.10/17 H30.10/24	介護職員の処遇改善	11人	事務長 清水 健太郎
H30.11/14 H30.11/21	接遇研修	10人	損保ジャパン日本興亜 保健 藤城 卓嗣 氏
H30.12/27	介護技術研修	9人	介護主任 赤城 啓治朗
H31.01/24	感染症冬季基礎知識と予防	9人	介護主任 赤城 啓治朗
H31.02/21	拘縮を防ぐ観察のポイントとケア	10人	介護主任 赤城 啓治朗
H31.03/28	誤薬の防止と危険な副作用の見分け方	11人	介護主任 赤城 啓治朗

## 平成30年度グループホーム行事報告

月	行事名	備考
4月	お花見(桜)	
5月	母の日	
6月	父の日 健康診断・避難訓練 若宮幼稚園慰問	園児によるお遊戯のお披露目と交流。 有吉病院にて利用者健康診断実施
7月	七夕まつり	
8月	すいか割り 花火大会	施設駐車場にて職員・利用者一緒に花火を楽しんでいた。 だいた。
9月	敬老会 お彼岸供養	実行委員主導のもと敬老会を実施。 明覚寺住職によるお彼岸供養。
10月	コスモス見学	西郷川公園(外出支援)
11月	足湯ボランティア 避難訓練	温泉協会による足湯ボランティアを日曜日に実施。施設 長・理事長にも手伝ってもらい利用者様に楽しんでいた だいた。
12月	クリスマス会 餅つき	
1月	正月 書初め 大門松見学	ドリームホープ駐車場(外出支援)
2月	節分 回転寿司	法人全体での回転寿司の企画・開催。
3月	ひな祭り	

## 平成30年度グループホーム研修報告

年月	研修テーマ	参加職員数	講師等
H30. 04/26	介護保険と倫理法令の概要	8人	管理者 眞野 かおる
H30. 05/25	清潔保持について	7人	介護職員 池田 美代
H30. 06/28	食中毒の基礎知識と予防	7人	介護主任 林 由紀
H30. 07/11 H30. 07/18	介護職員の接遇	13人	GH 秋桜 池上 三千代 氏
H30. 08/23	ヒヤリについて	7人	管理者 眞野 かおる
H30. 09/26	感染症予防	8人	介護主任 林 由紀
H30. 10/17 H30. 10/24	介護職員の処遇改善	12人	事務長 清水 健太郎
H30. 11/14 H30. 11/21	接遇研修	13人	損保ジャパン日本興亜 保健 藤城 卓嗣 氏
H30. 12/27	介護実践	7人	介護主任 林 由紀
H31. 01/25	虐待防止及び身体拘束廃止	8人	管理者 眞野 かおる
H31. 02/28	個人情報保護法とプライバシー保護	8人	管理者 眞野 かおる
H31. 03/31	認知症と認知症ケアについて	8人	介護主任 林 由紀

## 平成30年度ダイサービス行事報告

月	行事名	備考
4月	2日 桜見物 18日 つわ取り 13日 藤の花見物	篠栗樹芸の森 久山町・宮若市
5月	11日 がめの葉餅作り 23日 菖蒲見物	太宰府天満宮
6月	13日 紫陽花見物 20日 慰問	田川金山紫陽花園 直方もととり紫陽園
7月	18日 そうめん流し	そうめん流しを実施
8月	10日 お盆法事 17日 カラオケ&食事会	小竹町 ぽっぽ
9月	16日 敬老会 19日 彼岸法要 21・26日 おはぎ作り	実行委員主導のもと敬老会を実施。 明覚寺住職によるお彼岸供養。 おはぎ作りを実施
10月	17日 リンゴ狩り	嘉穂の里・華香園
11月	9日 かかし祭り・買い物 30日 買い物	上久原・トリアス久山 トリアス久山
12月	27日 忘年会・餅つき	餅つきの見学と体験を実施。 忘年会の実施。
1月	11日 三社参り	宗像大社・宮地嶽他
2月	6日 回転寿司・買い物	法人全体での回転寿司の企画・開催と買い物
3月	6日 カラオケ&食事会 20日 桜見物	小竹町 ぽっぽ 篠栗樹芸の森

## 平成30年度デイサービス研修報告

年月	研修テーマ	参加職員数	講師等
H30.04/13	機能訓練実習	2人	介護職員 篠原 まり子
H30.05/14	食中毒の予防	2人	生活相談員 早川 福夫
H30.06/11	熱中症対策	2人	介護職員 徳永 由利子
H30.07/11 H30.07/18	介護職員の接遇	3人	GH 秋桜 池上 三千代 氏
H30.08/06	ヒヤリハットと事故	2人	介護職員 篠原 まり子
H30.09/01	入浴介助の実技	2人	生活相談員 早川 福夫
H30.10/17 H30.10/24	介護職員の処遇改善	2人	事務長 清水 健太郎
H30.11/14 H30.11/21	接遇研修	2人	損保ジャパン日本興亜 保健 藤城 卓嗣 氏
H30.12/01	インフルエンザの予防	2人	生活相談員 早川 福夫
H31.01/11	高齢者虐待防止	2人	生活相談員 早川 福夫
H31.02/13	緊急時の対応	2人	介護職員 篠原 まり子
H31.03/4	通所者のプライバシー保護	2人	生活相談員 早川 福夫